

データ活用社会創成シンポジウム

2019年9月2日(月) 11:00~18:00

UTokyo
FSI
Symposium



会場：東京大学浅野キャンパス 武田先端知ビル5F 武田ホール

あらゆる分野と地域でデータを最大限に利活用していくことは、**Society5.0**が目指す知識集約型社会の鍵であり、だれもがデータを利活用できるインクルーシブな社会の実現につながります。そのような「データ活用社会」を創成するには、知識集約の中核を担う大学・研究機関をハブとした、幅広い用途に使える基盤環境の整備と、データを解析したい人と解析技術・公開データを結ぶ人的環境の形成を全国レベルで促進することが重要です。本シンポジウムでは、米国ミシガン大学での取り組み、国内の最先端基盤環境、ならびに、さまざまな地域や分野でのデータの利活用の取り組みの講演とパネルディスカッションを通して、より良いデータ活用社会の創成に向けた取り組みを広く社会に発信するとともに、そのあるべき姿について参加者の皆様と共有してまいりたいと思います。

時間	内容(変更される可能性があります)
11:00 - 11:10	●挨拶 五神 真(東京大学総長)
11:10 - 11:20	●挨拶 喜連川 優(国立情報学研究所所長)
11:20 - 11:25	●来賓挨拶 増子 宏(文部科学省 大臣官房審議官 研究振興局及び高等教育政策連携担当)
11:25 - 12:25	●基調講演 The Role of Data Science in a University and in Society Professor H.V.Jagadish (Michigan Institute of Data Science Director)
12:25 - 14:00	休憩(ポスターセッション)
14:00 - 14:20	●講演 データ活用社会創成プラットフォームについて 中村 宏(東京大学総長特任補佐)
14:20 - 14:40	●講演 名古屋大学データ活用関係のプロジェクト(自動運転・医療画像など) 森 健策(名古屋大学情報基盤センター長)
14:40 - 14:55	●講演 広域データ収集基盤の応用による脳生理情報の可視化への期待 町澤 まる(量子科学技術研究開発機構研究員)
14:55 - 15:10	●講演 SINET広域データ収集基盤を活用した高次ライフサイエンス情報の収集に向けて 近堂 徹(広島大学情報メディア教育研究センター准教授)
15:10 - 15:30	●講演 Innovators Marketplace on Data Jackets ライブデモ ~産学データの価値共創~ 大澤 幸生(東京大学工学系研究科教授)
15:30 - 15:50	休憩
15:50 - 16:10	●講演 IVIが描き出すSociety5.0の具体像 ~ものづくりデータ取引プラットフォーム構想~ 西岡 靖之(法政大学教授・IVI(Industrial Value chain Initiative) 理事長)
16:10 - 16:30	●講演 研究データ利用ガイドラインとABCIについて 関口 智嗣(産業技術総合研究所理事、情報・人間工学領域長)
16:30 - 16:50	●講演 歴史学・人文学のデータプラットフォームの可能性 後藤 真(国立歴史民俗博物館准教授)
16:50 - 17:00	休憩
17:00 - 18:00	●パネルディスカッション「Building Data Science Community: Dos and Don'ts」
18:10 - 19:30	●懇親会

主催：東京大学未来社会創成推進本部 データプラットフォーム推進タスクフォース

共催：北海道大学情報基盤センター、東北大学サイバーサイエンスセンター、東京大学情報基盤センター、東京工業大学学術国際情報センター、名古屋大学情報基盤センター、京都大学学術情報メディアセンター、大阪大学サイバーメディアセンター、九州大学情報基盤研究開発センター、国立情報学研究所、産業技術総合研究所

参加費無料(懇親会費4,000円) 下記URLよりお申し込み下さい。(締切日は、ポスター発表とも、8月28日)

<https://sites.google.com/g.ecc.u-tokyo.ac.jp/dp-sympo2019>

